# 2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日


上 場 会 社 名　　オリオンビール株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　409A　　URL https://www.orionbeer.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）村野　一
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画本部長　（氏名）池原　京子　(TEL) 098(971)6354

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## １．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

### （１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 15,654 | △0.8 | 3,241 | △7.6 | 2,454 | △9.7 | 2,465 | △5.7 | 1,688 | △33.7 |
| 2026年３月期中間期 | 15,784 | ― | 3,507 | ― | 2,718 | ― | 2,615 | ― | 2,544 | ― |

(注) 包括利益　2027年３月期中間期　1,688百万円(△33.7%)　2026年３月期中間期　2,544百万円(　―%)

| | １株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後１株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年３月期中間期 | 39.84 | 38.56 |
| 2026年３月期中間期 | 62.35 | 57.83 |

(注) 1.2025年３月期中間期については、中間連結財務諸表を作成していないため、2026年３月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。
2.EBITDA＝営業利益+減価償却費+のれん償却費+株式報酬費用

### （２）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年３月期中間期 | 43,803 | 18,949 | 43.3 |
| 2026年３月期 | 44,089 | 18,483 | 41.9 |

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　18,947百万円　2026年３月期　18,479百万円

## ２．配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年３月期 | ― | 20.00 | ― | 24.00 | 44.00 |
| 2027年３月期 | ― | 17.00 | | | |
| 2027年３月期(予想) | | | ― | 17.00 | 34.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## ３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | EBITDA | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 31,119 | 4.7 | 5,948 | 1.2 | 4,352 | 0.9 | 4,185 | 1.6 | 2,932 | △19.5 | 66.83 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2027年３月期中間期 | 43,243,400株 | 2026年３月期 | 42,253,200株 |
| ②　期末自己株式数 | 2027年３月期中間期 | 408,923株 | 2026年３月期 | 39株 |
| ③　期中平均株式数（中間期） | 2027年３月期中間期 | 42,374,208株 | 2026年３月期中間期 | 40,813,400株 |

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間連結会計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間連結会計期間の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

# １．経営成績等の概況

## （１）当中間連結会計期間の経営成績の概況

当社は「沖縄から、人を、場を、世界を、笑顔に。」をミッションとし、魅力ある商品・体験を沖縄県民、観光客にお届けし、沖縄と共に持続的な成長を実現する「循環成長型ビジネスモデル」を掲げ、企業価値向上を追求しております。沖縄県内での酒類販売やリゾートホテルでのサービス提供を通じて、沖縄の魅力を価値として提供すると共に、県外・海外において沖縄を想起する施策を展開することで、ブランドロイヤリティを向上していくビジネスモデルを進めています。

当中間連結会計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）における経営成績は、酒類清涼飲料事業が順調に推移したものの、前連結会計年度に実施したオリオンホテル那覇の事業譲渡に伴う売上の剥落により売上高は129百万円減少し、15,654百万円（前年同期比△0.8%）となりました。営業利益は戦略的広告宣伝費の投下により264百万円減少し、2,454百万円（前年同期比△9.7%）、経常利益は150百万円減少し、2,465百万円（前年同期比△5.7%）となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、前連結会計年度に売却したオリオンホテル那覇の売却益の剥落により856百万円減少し、1,688百万円（前年同期比△33.7%）となりました。

当社グループでは、酒類清涼飲料事業及び観光・ホテル事業の２つの事業セグメントを展開しております。各事業セグメントの内容及び業績は以下のとおりです。

＜酒類清涼飲料事業＞

酒類清涼飲料事業は、ビール類を中心に展開しております。

当社が手掛ける「オリオン」は、沖縄に根差し共に成長を遂げた、沖縄を代表するビールブランドであり、「オリオン ザ・ドラフト」が主力商品となります。同商品は沖縄の大麦、水を使用し、温暖な気候に合わせたすっきりとした味わいが特徴です。また、県産のフルーツを豊富に使用したRTD（Ready to Drink：缶チューハイ等すぐに飲めるアルコール飲料）やフルーツワイン、沖縄の伝統的な蒸留酒である泡盛とその副産物を使用したもろみ酢等の製造・販売、並びに「オリオン」ブランドを活用したIPビジネス等、沖縄と共に成長する「循環成長型ビジネスモデル」を強化することにより、沖縄県内、県外、海外に向け、魅力ある商品・体験をお届けしています。

酒類清涼飲料事業においては、好調なIPビジネス及び沖縄県外の伸びが成長をけん引し、当中間連結会計期間における売上高は402百万円増加し、12,808百万円（前年同期比＋3.2%）となりました。営業利益は10月に施行された酒税改正及び特措法廃止への対応として、「オリオン　ザ・ドラフト」のブランド強化を目的に広告宣伝費を増加したため134百万円減少し、1,967百万円（前年同期比△6.4%）となりました。

＜観光・ホテル事業＞

沖縄は豊富な観光資源とアジア諸国に近接する地理的優位性により、ハワイに匹敵する数の観光客が訪問する地域であり、観光客数・観光収入が増加傾向にあります。

そのような中、観光・ホテル事業ではオリオンホテルモトブリゾート＆スパ（本部町）を主軸に、創業の地である沖縄県北部を中心として、地域と連携した「オリオン」ブランドの体験価値向上と沖縄観光業の振興を図っております。

当中間連結会計期間においては、オリオンホテルモトブリゾート＆スパの売上が、宿泊人数の増加、及びメインダイニングの改装効果により増加したものの、前連結会計年度に売却したオリオンホテル那覇の剥落により、観光・ホテル事業の当中間連結会計期間における売上高は532百万円減少し、2,846百万円（前年同期比△15.8%）となり、営業利益は129百万円減少し、492百万円（前年同期比△20.9%）となりました。

## （２）当中間連結会計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して285百万円減少し、43,803百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少1,508百万円、売掛金の増加589百万円、建設仮勘定の増加986百万円になります。

負債は前連結会計年度末と比較して751百万円減少し、24,854百万円となりました。主な要因は、未払金の減少399百万円、賞与引当金の減少196百万円、長期借入金の減少352百万円、未払法人税等の増加427百万円になります。

純資産は前連結会計年度末と比較して465百万円増加し、18,949百万円となりました。主な要因は、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益による増加1,688百万円、配当金支払による減少1,014百万円、自己株式の取得等による減少472百万円になります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の中間期末残高は7,998百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は、主に税金等調整前中間純利益2,446百万円、減価償却費773百万円、売上債権の増加額△589百万円、仕入債務の減少額△109百万円、賞与引当金の減少額△196百万円、法人税等の支払額△312百万円等により、1,904百万円（前年同期は2,618百万円の資金の減少）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、主に有形固定資産の取得による支出△1,450百万円、投資有価証券の取得による支出△221百万円等により、△1,713百万円（前年同期は2,554百万円の資金の増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は、主に長期借入金の返済による支出△352百万円、配当金の支払額△1,010百万円、自己株式の取得による支出△490百万円等により、△1,699百万円（前年同期は4,074百万円の資金の減少）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、「2026年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,506 | 8,998 |
| 売掛金 | 2,489 | 3,079 |
| 商品及び製品 | 1,358 | 1,363 |
| 原材料及び貯蔵品 | 813 | 699 |
| その他 | 339 | 313 |
| 貸倒引当金 | △0 | － |
| 流動資産合計 | 15,506 | 14,454 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 27,218 | 27,375 |
| 減価償却累計額 | △13,471 | △13,889 |
| 建物及び構築物（純額） | 13,747 | 13,485 |
| 機械装置及び運搬具 | 20,646 | 20,681 |
| 減価償却累計額 | △17,939 | △18,116 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,707 | 2,564 |
| 土地 | 7,448 | 7,448 |
| 建設仮勘定 | 279 | 1,265 |
| その他 | 2,248 | 2,446 |
| 減価償却累計額 | △1,588 | △1,693 |
| その他（純額） | 660 | 753 |
| 有形固定資産合計 | 24,843 | 25,517 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 112 | 99 |
| その他 | 587 | 559 |
| 無形固定資産合計 | 699 | 658 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,668 | 2,894 |
| その他 | 491 | 397 |
| 貸倒引当金 | △119 | △119 |
| 投資その他の資産合計 | 3,039 | 3,172 |
| 固定資産合計 | 28,582 | 29,349 |
| 資産合計 | 44,089 | 43,803 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（2026年３月31日） | 当中間連結会計期間<br>（2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,102 | 993 |
| １年内返済予定の長期借入金 | 705 | 705 |
| 未払金 | 2,231 | 1,832 |
| 未払酒税 | 883 | 857 |
| 未払法人税等 | 331 | 758 |
| 賞与引当金 | 415 | 219 |
| 役員賞与引当金 | 26 | 8 |
| その他 | 1,178 | 1,067 |
| 流動負債合計 | 6,875 | 6,442 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 15,655 | 15,303 |
| 繰延税金負債 | 1,462 | 1,456 |
| 役員退職慰労引当金 | 17 | 15 |
| 退職給付に係る負債 | 322 | 355 |
| 資産除去債務 | 82 | 82 |
| 長期預り金 | 999 | 992 |
| その他 | 190 | 205 |
| 固定負債合計 | 18,730 | 18,411 |
| 負債合計 | 25,605 | 24,854 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 560 | 693 |
| 資本剰余金 | 14,291 | 14,424 |
| 利益剰余金 | 3,626 | 4,301 |
| 自己株式 | △0 | △472 |
| 株主資本合計 | 18,479 | 18,947 |
| 新株予約権 | 4 | 2 |
| 純資産合計 | 18,483 | 18,949 |
| 負債純資産合計 | 44,089 | 43,803 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 15,784 | 15,654 |
| 売上原価 | 7,281 | 7,565 |
| 売上総利益 | 8,503 | 8,089 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,784 | 5,634 |
| 営業利益 | 2,718 | 2,454 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 23 |
| 受取配当金 | 66 | 114 |
| 持分法による投資利益 | 20 | 20 |
| その他 | 59 | 59 |
| 営業外収益合計 | 150 | 217 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 131 | 169 |
| その他 | 121 | 36 |
| 営業外費用合計 | 253 | 206 |
| 経常利益 | 2,615 | 2,465 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 844 | 2 |
| 資産除去債務戻入益 | 208 | － |
| 特別利益合計 | 1,053 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 10 | 22 |
| 支払負担金 | 27 | － |
| 特別退職金 | 17 | － |
| 特別損失合計 | 54 | 22 |
| 税金等調整前中間純利益 | 3,614 | 2,446 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,053 | 745 |
| 法人税等調整額 | 16 | 12 |
| 法人税等合計 | 1,070 | 757 |
| 中間純利益 | 2,544 | 1,688 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 2,544 | 1,688 |

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純利益 | 2,544 | 1,688 |
| 中間包括利益 | 2,544 | 1,688 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 2,544 | 1,688 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 3,614 | 2,446 |
| 減価償却費 | 776 | 773 |
| のれん償却額 | 13 | 13 |
| 株式報酬費用 | － | 4 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △2 | △0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △70 | △137 |
| 支払利息 | 131 | 169 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △20 | △20 |
| 資産除去債務戻入益 | △208 | － |
| 固定資産除却損 | 10 | 22 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △230 | △589 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △52 | 109 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △71 | △109 |
| 未払酒税の増減額（△は減少） | 34 | △26 |
| 長期預り金の増減額（△は減少） | 9 | △6 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △844 | △2 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △57 | △196 |
| 役員賞与引当金の増減額（△は減少） | △19 | △17 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 2 | △2 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 51 | 33 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 60 | △141 |
| その他 | △2,433 | △69 |
| 小計 | 693 | 2,250 |
| 利息及び配当金の受取額 | 87 | 133 |
| 利息の支払額 | △107 | △166 |
| 法人税等の支払額 | △3,291 | △312 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,618 | 1,904 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,000 | △1,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | － | 1,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △670 | △1,450 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 4,262 | 2 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △3 | △11 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △37 | △31 |
| 投資有価証券の取得による支出 | － | △221 |
| その他 | 3 | △0 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 2,554 | △1,713 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △352 | △352 |
| リース債務の返済による支出 | △48 | △51 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | － | 263 |
| 新株予約権の取得による支出 | △0 | － |
| 自己株式の取得による支出 | － | △490 |
| 配当金の支払額 | △3,673 | △1,010 |
| その他 | － | △57 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,074 | △1,699 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △4,137 | △1,508 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,203 | 9,506 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 9,065 | 7,998 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

Ⅰ前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額（注）1 | 中間連結損益計算書計上額（注）2 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 酒類清涼飲料事業 | 観光・ホテル事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 12,406 | 3,378 | 15,784 | － | 15,784 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 12,406 | 3,378 | 15,784 | － | 15,784 |
| セグメント利益 | 2,101 | 622 | 2,723 | △5 | 2,718 |

（注）１　セグメント利益の調整額△5百万円には、減価償却費の調整額△５百万円が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額（注）1 | 中間連結損益計算書計上額（注）2 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 酒類清涼飲料事業 | 観光・ホテル事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 12,808 | 2,846 | 15,654 | － | 15,654 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 12,808 | 2,846 | 15,654 | － | 15,654 |
| セグメント利益 | 1,967 | 492 | 2,459 | △5 | 2,454 |

（注）１　セグメント利益の調整額△5百万円には、減価償却費の調整額△５百万円が含まれております。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。